

外科研修

◇ 研修目標および特徴

- 1) 外科疾患の理解
- 2) 諸検査の計画
- 3) 手術適応の決定
- 4) 手術内容の把握
- 5) 周術期管理
- 6) 終末期患者の管理

◇ 研修内容 (方略)

病棟において患者を担当し，外科疾患に関する知識，診療技術および態度を学ぶ。特に術前術後の病態の把握につとめ，基本的術前術後管理について理解を深める。その間に，基本的な診察法・検査法・治療法・手技およびカルテ記載方法などを修得する。

手術室では助手として手術に参加し，外科的基本手技についての修練を行う。

中央画像診断部での診療に参加することにより，内視鏡検査，造影検査などの基本を習得する。

切除不能進行再発症例を担当し，医師としての患者および家族に対する基本的対応方法を修得するとともに緩和医療についても修練を行う。

指導医とともに入院患者の急変時および外科救急の初期対応を学ぶ。

2年次（外科志望者）においては，ヘルニア，虫垂炎等の術者として手術を完遂できるよう修練を行う。また，興味ある症例を積極的に学会発表し論文として投稿する。

◇ 指導責任者

外科・消化器外科部長：赤丸 祐介

肝胆膵外科部長：辻江 正徳

上部消化管外科部長：浜川 卓也

下部消化管外科部長：鄭 充善

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	抄読会・グループ回診 手術 内視鏡検査	手術 造影検査、内視鏡検査 各グループ検討会
火	グループ回診 手術	8:00 グループ回診 手術 内科外科検討会
水	グループ回診 手術 内視鏡検査	手術 造影検査、内視鏡検査 術前・術後検討会
木	グループ回診 手術	手術
金	総回診 手術	手術

◇ 評価方法

- (1) 各研修医は研修到達度の自己評価を PG-EPOC に入力する。
- (2) 研修指導医は研修期間終了時に、研修医の研修到達度を評価する